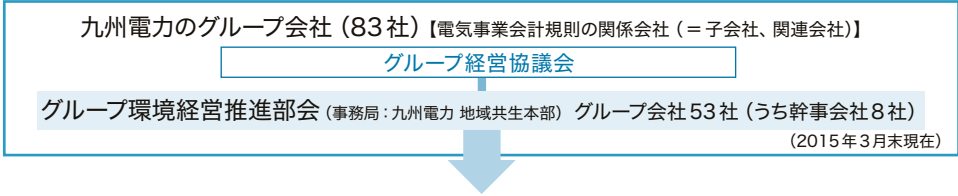


# II グループ会社の環境経営

## 1. グループ環境経営推進部会

WEB 詳細は九州電力ホームページ  
 関連・詳細情報 (P2参照) > 九電グループ紹介



### エネルギー関連事業 (29社)

(● 幹事会社)

**設備の建設・保守 (11社)**

<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 九州林産(株)</li> <li><input type="radio"/> (株)九電ハイテック</li> <li><input type="radio"/> 西日本プラント工業(株)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 九電産業(株)</li> <li><input checked="" type="radio"/> 西日本技術開発(株)</li> <li><input type="radio"/> 西技工業(株)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> (株)プラズワイヤー</li> <li><input type="radio"/> 西技測量設計(株)</li> <li><input checked="" type="radio"/> (株)九電工</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 西九州共同港湾(株)</li> <li><input checked="" type="radio"/> (株)九建</li> </ul>
---	--	--	--

**資機材等の調達 (7社)**

<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 九電テクノシステムズ(株)</li> <li><input type="radio"/> 西日本空輸(株)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 九州高圧コンクリート工業(株)</li> <li><input type="radio"/> 光洋電器工業(株)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> (株)キューヘン</li> <li><input type="radio"/> 誠新産業(株)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 西日本電気鉄工(株)</li> </ul>
--	--	---	--

**電気の卸供給/エネルギー事業 (11社)**

<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 戸畑共同火力(株)</li> <li><input type="radio"/> 大分共同火力(株)</li> <li><input type="radio"/> 大分エル・エヌ・ジー(株)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 北九州エル・エヌ・ジー(株)</li> <li><input checked="" type="radio"/> 西日本環境エネルギー(株)</li> <li><input type="radio"/> 九電みらいエナジー(株)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 長島ウインドヒル(株)</li> <li><input type="radio"/> (株)福岡エネルギーサービス</li> <li><input type="radio"/> みやざきバイオマスリサイクル(株)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> (株)福岡クリーンエナジー</li> <li><input type="radio"/> 九州冷熱(株)</li> </ul>
---	--	--	--

**情報通信事業 (5社)**

<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 九州通信ネットワーク(株)</li> <li><input type="radio"/> (株)キューデンインフォコム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> ニシム電子工業(株)</li> <li><input type="radio"/> 九電ビジネスソリューションズ(株)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> (株)コアラ</li> </ul>
---	--	--

**環境・リサイクル事業 (2社)**

<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> (株)ジェイ・リライツ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 九州環境マネジメント(株)</li> </ul>
---	---

**生活サービス事業 (17社)**

<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> (株)電気ビル</li> <li><input type="radio"/> (株)キューデン・グッドライフ</li> <li><input type="radio"/> (株)キューデン・グッドライフ東福岡</li> <li><input type="radio"/> (株)キューデン・グッドライフ熊本</li> <li><input type="radio"/> (株)キューデン・グッドライフ鹿児島</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> (株)キューデン・グッドライフ福岡浄水</li> <li><input type="radio"/> (株)九電ビジネスフロント</li> <li><input type="radio"/> 九電不動産(株)</li> <li><input type="radio"/> (株)九電オフィスパートナー</li> <li><input type="radio"/> 九州メンテナンス(株)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 九州高原開発(株)</li> <li><input type="radio"/> (株)九電ホームセキュリティ</li> <li><input type="radio"/> (株)九電シェアードビジネス</li> <li><input type="radio"/> (株)九州字幕放送共同制作センター</li> <li><input type="radio"/> (株)オークパートナーズ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 九州住宅保証(株)</li> <li><input type="radio"/> 伊都ゴルフ土地(株)</li> </ul>
--	---	--	---

### 環境活動実績 (P39~P46) 集約の考え方

- ・各環境活動実績は、集計対象のグループ会社のうち、実績の把握が可能  
なすべての会社(下表)の集計値です。  
(九州電力は含まない)
- ・四捨五入の関係上、合計値及び百分率が合わないことがあります。

- ・購入電力に伴うCO<sub>2</sub>排出量は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」  
に基づき、国から公表された「電気事業者別二酸化炭素排出係数」を用  
いて算出しています。

※1: (株)九電ハイテック、九州メンテナンス(株)を集計対象に追加。

#### 環境活動実績の集計対象

2012年度	グループ環境経営推進部会 全53社 <sup>※1</sup>
2013年度	グループ環境経営推進部会 全53社
2014年度	グループ環境経営推進部会 全53社

用語集をご覧ください

- >> 環境経営
- >> 地球温暖化対策の推進に関する法律

九州電力のグループ会社では、地球温暖化の防止や循環型社会の形成などを企業の社会的責任と認識し、九州電力グループ一体となって環境経営を推進するとともに、各社の事業特性に応じた環境活動に取り組んでいます。

- ① 地球環境問題への取り組み ..... 40
- ② 循環型社会形成への取り組み ..... 42
- ③ 地域環境の保全 ..... 43
- ④ 社会との協調 ..... 44
- ⑤ 環境管理の推進 ..... 45

## 2. 事業活動と環境負荷の状況

下図は、グループ会社での資源や資材の投入から、事業活動を経てどのような環境負荷が発生しているかを表したものです。今後も、この現状を踏まえ、更なる環境負荷低減に努めていきます。

### 資源投入量

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電力量<sup>※1</sup> ..... 204.6 百万kWh (204.3 百万 kWh)</li> <li>・ 燃料<sup>※2</sup> (軽油、ガソリン、A重油など) ..... 8.2 千tℓ (8.2千tℓ)</li> <li style="padding-left: 20px;">(LNG、LPGなど) ..... 1.2 千トン (1.2千トン)</li> <li>・ 水 ..... 5.8 百万トン (4.5 百万トン)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熱 (蒸気など) ..... 42.4 百万MJ (38.4 百万 MJ)</li> <li>・ コピー用紙 ..... 127.7 百万枚 (128.6百万枚)</li> <li>・ PRTR制度の指定化学物質取扱量 ..... 39.8 トン (41.1トン)</li> </ul>
--	--

### INPUT

エネルギー関連  
事業

情報通信  
事業

環境・リサイクル  
事業

生活サービス  
事業

**環境活動**

- ・ 環境目標管理
- ・ 温室効果ガス排出抑制
- ・ リサイクル推進
- ・ 大気汚染物質排出抑制
- ・ 省エネ、省資源推進
- ・ 規制対象フロン排出抑制
- ・ グリーン調達推進
- ・ 環境教育の実施

**環境負荷低減量**

- ・ 温室効果ガス排出抑制量<sup>※3</sup> ..... 46.3 千トン-CO<sub>2</sub> (41.8 千トン-CO<sub>2</sub>)
- ・ 規制対象フロン回収実施率<sup>※4</sup> ..... 100% (100%)
- ・ 産業廃棄物リサイクル率 (量) ..... 96% (154.9千トン) (94% (98.2千トン))
- ・ 古紙リサイクル率 (量) ..... 97% (1.1千トン) (91% (0.8千トン))
- ・ SOx 排出低減量<sup>※5</sup> ..... 10.9 千トン (5.9 千トン)
- ・ NOx 排出低減量<sup>※6</sup> ..... 2.9 千トン (2.1 千トン)

WEB 詳細は九州電力ホームページ  
関連・詳細情報 (P2参照) > 温室効果ガス排出抑制量 (グループ会社)

### OUTPUT

**環境負荷量**

- ・ 温室効果ガス排出量<sup>※2</sup> ..... 237.2 千トン-CO<sub>2</sub> (267.8 千トン-CO<sub>2</sub>)
- ・ PRTR制度の指定化学物質排出量 (大気) ..... 20.0 トン (20.4 トン)
- ・ オゾン層破壊物質排出量<sup>※7</sup> ..... 0.03 ODPトン (0.33 ODPトン)
- ・ 産業廃棄物処分量 ..... 6.1 千トン (5.9 千トン)
- ・ SOx排出量 ..... 2.1 千トン (1.1 千トン)
- ・ 古紙処分量 ..... 0.04 千トン (0.09 千トン)
- ・ NOx排出量 ..... 2.9 千トン (2.5 千トン)

※1：発電所内電力量等を除く購入電力量を計上。 ※2：電力会社等への販売電力量分 (発電用燃料及びその燃焼に伴う排出量) を除く。  
 ※3：グループ会社が事業所に設置した太陽光発電設備等の導入実績において、導入しなかった場合をベースラインとして算出。 ※4：点検時において法令基準レベル (撤去時における法定圧力) までガス回収を実施した機器の割合。  
 ※5：ばい煙発生施設 (ボイラー等) において、脱硫処理や低硫黄燃料の使用を行わなかった場合をベースラインとして算出。  
 ※6：ばい煙発生施設 (ボイラー等) において、脱硝処理を行わなかった場合をベースラインとして算出。 ※7：各フロンのオゾン層破壊係数を用いて、CFC-11 重量相当に換算。  
 (注) ( ) 内は2013年度の実績値。実績集約の考え方については、P38参照。

## 3. 環境目標と実績 2014年度は単位面積あたりのオフィス電力使用量など環境目標を設定した全項目で目標を達成しました。

項目	単位	実績			2014年度環境目標	2015年度環境目標		
		2012年度	2013年度	2014年度				
地球環境問題への取り組み	オフィス電力	使用量	百万kWh	24.0	25.5	23.5	—	—
		単位面積あたり使用量	kWh/m <sup>2</sup>	93.9	95.4	90.1	100程度	95程度
	自家物流送 (特殊車両等を除く)	低公害車導入比率 <sup>※1</sup>	%	69	69	67.9	65以上	65以上
		燃料消費率 (燃費)	km/ℓ	11.2	11.0	11.3	11.0以上	11.0以上
	SF <sub>6</sub> (六フッ化硫黄) 回収率	機器点検時	%	100	実績なし <sup>※2</sup>	実績なし <sup>※2</sup>	98以上	98以上
		機器撤去時	%	99	100	100	99以上	99以上
	機器点検時の規制対象フロン回収実施率	%	100	100	100	100	100	
用紙使用量 <sup>※3</sup>	百万枚	123.5	128.6	127.7	事務用紙使用量の節約	事務用紙使用量の節約		
上水	使用量	千トン	152.7	151.6	140.5	—	—	
	一人あたりの使用量	m <sup>3</sup> /人	14	14	13.1	16以下	14以下	
循環型社会形成への取り組み	リサイクル率	産業廃棄物	%	93	94	96	90以上	95以上
		石炭灰	%	100	100	100	100	100
		石炭灰以外	%	78	81	80	80以上	80以上
		古紙	%	89	91	97	93程度	93程度
グリーン調達率	%	88	88	87	80程度	86程度		
地域環境の保全	火力発電電力量あたりのSOx排出量	g/kWh	0.14	0.12	0.20	0.3程度	0.3程度	
	火力発電電力量あたりのNOx排出量	g/kWh	0.23	0.24	0.25	0.3程度	0.3程度	

※1：電気自動車 (プラグインハイブリッド車を含む)、ハイブリッド車及び低燃費車のグループ会社保有車両総台数に占める割合。  
 ※2：設備は保有しているが、機器の点検の実績がないもの。  
 ※3：用紙使用量はA4サイズ換算枚数。  
 (注) 実績集約の考え方については、P38参照。

WEB 詳細は九州電力ホームページ  
関連・詳細情報 (P2参照) > オフィス電力・自家物流送 (グループ会社)

- 用語集をご覧ください

  - >> 地球温暖化
  - >> 地球環境問題
  - >> 循環型社会
  - >> LNG (液化天然ガス)
  - >> LPG (液化石油ガス)
  - >> PRTR (制度)
  - >> 指定化学物質
  - >> 温室効果ガス
  - >> 大気汚染

- >> 規制対象フロン
  - >> グリーン調達
  - >> 産業廃棄物
  - >> リサイクル率
  - >> SOx (硫黄酸化物)
  - >> NOx (窒素酸化物)
  - >> オゾン層破壊物質
  - >> 所内電力 (量)
  - >> ばい煙

- >> 脱硫処理
  - >> 低硫黄燃料
  - >> 脱硝処理
  - >> フロン
  - >> オゾン層破壊係数
  - >> CFC-11 (トリクロロフルオロメタン)
  - >> 自家物流送
  - >> 低公害車

- >> SF<sub>6</sub> (六フッ化硫黄)
  - >> 上水
  - >> 石炭灰
  - >> 電気自動車
  - >> プラグインハイブリッド車
  - >> 低燃費車

## 1. 温室効果ガスの排出抑制

オフィス電力使用量などのグループ環境目標を設定し、省エネ活動、省エネ機器の導入及びエコドライブ等をグループ一体となって推進しています。

2014年度のCO<sub>2</sub>排出量は、電力や燃料の使用量に大きな変動がなかったため、2013年度と同程度となりました。また、HFC排出量は、2013年度より減少しましたが、依然として多いため、引き続き排出削減に努めていきます。

**WEB** 詳細は九州電力ホームページ  
関連・詳細情報 (P2参照) >  
温室効果ガスの排出量の詳細実績 (グループ会社)

### 温室効果ガス排出量

単位：千トン-CO<sub>2</sub>

	2012年度	2013年度	2014年度
CO <sub>2</sub> (二酸化炭素) <sup>※1</sup>	150.0	152.5	149.5 <sup>※2</sup>
CH <sub>4</sub> (メタン) <sup>※1</sup>	0.1	0.1	0.1
N <sub>2</sub> O (一酸化二窒素) <sup>※1</sup>	0.0	0.0	0.0
HFC (ハイドロフルオロカーボン)	36.0	115.3	87.6
PFC (パーフルオロカーボン)	—	—	—
SF <sub>6</sub> (六フッ化硫黄)	0.0	0.0	0.0
合計	186.1	267.8	237.2

(注) 四捨五入のため合計値が合わないことがある。

※1：電力会社等への販売電力量分(発電用燃料の燃焼に伴う排出量)を除く。

※2：当社の2014年度の販売電力量あたりのCO<sub>2</sub>排出量(CO<sub>2</sub>排出クレジット等反映後)を使用して算定。

### 各種エネルギー使用量

		単位	2012年度		2013年度		2014年度	
			会社数	使用量	会社数	使用量	会社数	使用量
電力	オフィス	百万kWh	41	24.0	41	25.5	42	23.5
	工場等	百万kWh	33	182.8	33	178.8	33	181.1
燃料	車両等 ガソリン等	千kl	44	6.6	44	6.8	45	6.9
	冷暖房用	千kl	8	0.1	7	0.1	7	0.1
工業用 <sup>※</sup>	A重油等	千kl	12	1.3	12	1.3	12	1.2
	LNG、LPG	千トン	7	1.3	7	1.2	7	1.2
熱	蒸気等	百万MJ	3	33.2	3	38.4	3	42.4

※：電力会社等への販売電力量分(発電用燃料)を除く。

## 再生可能エネルギーの積極的な開発・導入を進めています

国産エネルギーの有効活用、並びに地球温暖化対策面で優れた電源であることから、再生可能エネルギーの積極的な開発・導入を進めています。

グループ各社のうち15社が太陽光・風力・バイオマス発電などの再生可能エネルギーの設備を導入しており、再生可能エネルギー設備の工事施工や設計業務に関わるグループ会社を含めると、20社が設備導入や開発に携わっています。

(株)九電工と九電みらいエナジー(株)は、地元企業を含む他3社と共同で「合同会社レナトス相馬ソーラーパーク」を設立し、最大出力52,452kWの大規模太陽光発電所(メガソーラー)の建設を進めています。東日本大震災の津波で被災し、塩害により農作が困難になった同市磯部地区の土地を活用して、2017年6月の運転開始を目指します。本事業を推進するにあたっては、地域への貢献策として、発電事業における収益の一部を地域の農業振興のために寄付したり、保守・メンテナンス業務の委託による地元での雇用の創出などを予定しています。



メガソーラー(福島県相馬市)の完成イメージ

用語集をご覧ください

- >> 地球環境問題
- >> N<sub>2</sub>O(一酸化二窒素)
- >> LPG(液化石油ガス)
- >> 温室効果ガス
- >> PFC(パーフルオロカーボン)
- >> 地球温暖化
- >> エコドライブ
- >> SF<sub>6</sub>(六フッ化硫黄)
- >> 再生可能エネルギー
- >> HFC(ハイドロフルオロカーボン)
- >> CO<sub>2</sub>排出クレジット
- >> バイオマス
- >> CH<sub>4</sub>(メタン)
- >> LNG(液化天然ガス)
- >> メガソーラー

**[設備導入状況]**

項目	会社数	総設備容量[kW]
太陽光発電	10	63,152
風力発電	3	64,390
バイオマス発電	1	11,350
廃棄物発電	1	29,200
合計	15	168,092

**[設備導入・開発に取り組む会社(青文字は設備導入会社)]**

**太陽光発電(12社)<sup>※1</sup>**

- 西日本プラント工業(株)
- 崇徳アスティ太陽光発電(株)
- (株)九電工
- 九電テクノシステムズ(株)
- 光洋電器工業(株)<sup>※2</sup>
- (株)キューヘン<sup>※2</sup>
- 誠新産業(株)
- 九電みらいエナジー(株)
- ニシム電子工業(株)<sup>※2</sup>
- (株)電気ビル
- (株)キューデン・グッドライフ東福岡
- 九電不動産(株)<sup>※2</sup>

**風力発電(8社)<sup>※1</sup>**

- 西日本プラント工業(株)
- 鯉尾岳風力発電(株)
- 奄美大島風力発電(株)
- 西日本技術開発(株)
- (株)九電工
- 九電みらいエナジー(株)
- 長尾ウインドヒル(株)
- 串間ウインドヒル(株)

**バイオマス発電(4社)<sup>※1</sup>**

- 西日本プラント工業(株)
- (株)九電工
- 九電みらいエナジー(株)
- みやざきバイオマスリサイクル(株)

**廃棄物発電(2社)**

- 西日本プラント工業(株)
- (株)福岡クリーンエナジー

**水力発電(2社)**

- 西日本技術開発(株)
- 西技工業(株)

**地熱発電(2社)**

- 西日本プラント工業(株)
- 九電みらいエナジー(株)

※1：グループ会社の子会社を含む。  
 ※2：九州電力の研究設備として設置。

**温室効果ガスの排出抑制に貢献します**

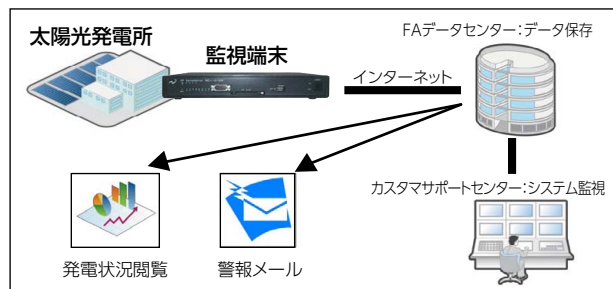
九電テクノシステムズ(株)は、電気自動車用の急速充電器やデマンドコントロール装置、MEMS(マンション・エネルギー・マネジメント・システム)などの製品・サービスを提供しており、電気自動車の普及、使用電力の平準化やマンションの電力使用量の見える化などを通じて、温室効果ガスの排出抑制に貢献していきます。

ニシム電子工業(株)では、太陽光発電事業者に代わって、発電状況の監視、実績の収集・保存や故障情報の通知などをインターネットを通じ遠隔で行うサービスを提供しています。



電気自動車用急速充電器  
(九電テクノシステムズ(株))

**WEB** 詳細は九州電力ホームページ  
 関連・詳細情報 (P2 参照) >  
 インフラ向け製品・サービス (九電テクノシステムズ(株))  
 太陽光発電設備監視サービス (ニシム電子工業(株))



太陽光発電設備監視サービス(ニシム電子工業(株))

**2. オゾン層の保護**

オゾン層を破壊するフロン類の回収を徹底するため、グループ環境目標を設定し、フロン類の排出抑制にグループ一体となって取り組んでいます。

2014年度の保有量において、CFCが減少しHCFCが増加したのは、グループ会社1社が冷媒として使用していたCFCをHCFCに変更したためです。

**オゾン層破壊物質保有量等**

単位：kg

		2012年度		2013年度		2014年度	
		会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
CFC	保有量	5	16,700	5	16,400	4	6,900
	排出量		700		300		0
HCFC	保有量	24	52,400	24	50,600	24	64,700
	排出量		400		600		1,400
ハロン	保有量	6	7,000	6	6,900	6	6,000
	排出量		0		0		0

単位：ODPkg

オゾン層破壊物質排出量 <sup>※</sup>	720	330	30
--------------------------	-----	-----	----

※：各フロン類のオゾン層破壊係数ODP値を用いて、CFC-11重量相当に換算。

用語集をご覧ください

- >> バイオマス
- >> フロン
- >> オゾン層破壊物質
- >> デマンドコントロール装置
- >> CFC(クロロフルオロカーボン)
- >> オゾン層破壊係数
- >> MEMS(マンション・エネルギー・マネジメント・システム)
- >> HCFC
- >> CFC-11
- >> (ハイドロクロロフルオロカーボン)
- >> (トリクロロフルオロメタン)
- >> オゾン層
- >> ハロン

## 廃棄物のゼロエミッション活動の展開

廃棄物については、リサイクル率を目標に設定し、その維持・向上にグループ一体となって努めています。

2014年度の産業廃棄物については、発生量が約5割増加していますが、これは、発電所から排出される石炭灰の増加によるものです。石炭灰については、引き続き全量リサイクルを行ったため、産業廃棄物全体でのリサイクル率は向上しました。

事務用品等については、環境負荷の少ない物品を優先して調達・購入するグリーン調達に努めています。

### 廃棄物の発生状況

		単位	2012年度		2013年度		2014年度		
			会社数	実績	会社数	実績	会社数	目標	実績
産業廃棄物	発生量	千トン	39	102.1	38	104.1	39	—	161.0
	リサイクル率	%		93		94		95以上	96
古紙	発生量	千トン	48	0.9	48	0.9	47	—	1.1
	リサイクル率	%		89		91		93程度	97

詳細は九州電力ホームページ

WEB 関連・詳細情報 (P2参照) >  
産業廃棄物の種類ごとの発生量及びリサイクル量の実績 (グループ会社)

### 環境・リサイクル事業を実施しています

九州電力グループでは、環境・リサイクル事業として、(株)ジェイ・リライツが使用済蛍光灯・乾電池のリサイクル事業を、九州環境マネジメント(株)が機密文書の機密抹消・リサイクル事業を実施しています。

(株)ジェイ・リライツは、2015年2月に北九州市より、産業廃棄物処理の取組みが優れた実績を挙げているとの認定を受けました。

詳細は九州電力ホームページ

WEB 関連・詳細情報 (P2参照) >  
環境リサイクル事業 (株)ジェイ・リライツ、九州環境マネジメント(株)



よかランプ(株)ジェイ・リライツ



認定証(株)ジェイ・リライツ



機密文書回収BOX  
(九州環境マネジメント(株))

### >>私の環境アクション

## コンクリートスラッジリサイクル事業が 国の新連携支援事業に認定されました (九州高圧コンクリート工業(株))

九州高圧コンクリート工業(株)  
技術部

いわき 登  
岩城



九州高圧コンクリート工業(株)では、これまで産業廃棄物として処理していたコンクリートスラッジ<sup>※</sup>を、ボイラーの排ガスで炭酸化処理し、牛舎の敷床材に混ぜて敷床材の乾燥・除菌・脱臭を行う環境衛生資材(「牛舎の敷床材 床カラット」として商品化するリサイクル事業を、2014年10月から実施しています。

※:コンクリート製品の製造過程で出るセメント汚泥。

この事業は、2014年7月に、中小企業の新たな事業促進を図るために国が進めている「新連携支援事業」に認定され、九州経済産業局長より認定書を授与されました。



床カラット

製品開発において苦労した点は、スラッジ水を炭酸化処理する既存の設備が無かったため、装置の開発から行ったことと、異分野での取組みとなるため、法規制を含め手探り状態での製品評価が必要だったことです。この技術は、環境に貢献できる事業だという一念で取り組んできました。

今後も、産業廃棄物の有効活用を通じて、循環型社会形成など環境への取組みに貢献していきます。



認定書



「床カラット」の使用イメージ



おが屑3:床カラット1

用語集をご覧ください

>>循環型社会  
>>ゼロエミッション

>>リサイクル率  
>>産業廃棄物

>>石炭灰  
>>グリーン調達

>>汚泥

## 環境保全の推進

グループ各社で取り扱う法規制物質等は、関係法令に基づき適正な運用・管理に努めています。PRTR制度における指定化学物質の2014年度の取扱量等については、2013年度と同程度の実績となりました。排出量の大半は、機器塗装で使用する塗料に含有しているキシレンとトルエンが占めています。

また、PCB廃棄物は、2014年度に38台の無害化処理を行った結果、2015年3月末現在の保有量は、1台のみとなりました。この1台については、2015年度に処理予定です。保管中のPCB廃棄物は、廃棄物処理法などに基づき厳重に保管・管理を行っています。

**WEB** 詳細は九州電力ホームページ  
関連・詳細情報 (P2参照) >  
PRTR制度の指定化学物質の物質ごとの取得量等実績・  
発電設備のSOx、NOxの排出量等の実績 (グループ会社)

### PRTR制度における指定化学物質の取扱量等

単位：トン

	2012年度		2013年度		2014年度	
	会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
取扱量		93.5		41.1		39.8
排出量(大気)	6	20.5	6	20.4	6	20.0
移動量		70.1		101.2		100.1

(注) PRTR制度の指定化学物質で届出が必要なデータを計上。

### PCB廃棄物の保有状況等 (2014年度)

単位：台

	処理状況		保有状況	
	会社数	処理量	会社数	保有量
トランス	—	—	1	1
コンデンサ	—	—	—	—
安定器	1	38	—	—
合計	1	38	1	1

### 大気汚染物質の排出量

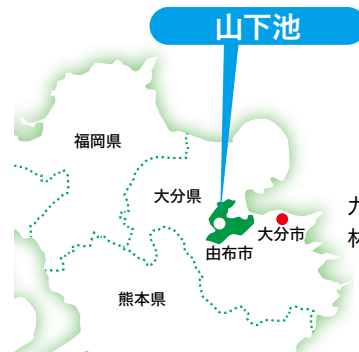
単位：千トン

	2012年度		2013年度		2014年度	
	会社数	実績	会社数	実績	会社数	実績
SOx排出量		1.4		1.1		2.1
NOx排出量	4	2.4	4	2.5	4	2.9

(注) ばい煙量の法的測定義務により、SOx・NOx排出量を把握している会社のデータを計上。

## >>私の環境アクション

### 山下池周辺に多くの世代が集う 「環境活動の場」を整備しました (九州林産株)



九州林産株  
林業部 森林経営グループ  
ばば じゅん こ  
馬場 純子

当社は、風光明媚な山下池近くで営業していた釣堀・御食事処の原状復旧にあたり、この場所が、多くの世代が集う「環境活動の場」として活用されるよう整備に着手しました。

自然景観や生物多様性に配慮し、自然の溪流に近い状態への復元を目指しており、2015年5月に整備が終わりました。将来的には、多くの人々が自然とふれあひながら学べる、多様な生きものが棲む緑豊かな溪流となるよう、引き続き、関わっていきたく考えています。

これまで学んできた森林生物学の知識を活用し、環境保全の大切さを伝えたいと願う者として、このようなチャンスを得たことに喜びを感じています。

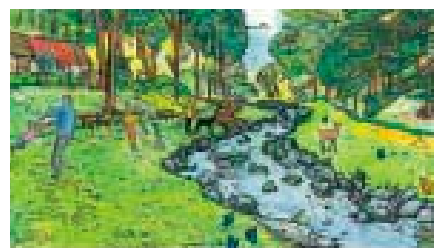
今後も、従来から実施している環境諸活動を持続的に展開し、当社が育成管理している九州電力社有林の持つ公益的機能の価値を社会に提供できるよう取り組んでいきます。



整備前



整備後



将来のイメージ

用語集をご覧ください

>>PRTR制度  
>>キシレン  
>>トルエン

>>指定化学物質  
>>地球温暖化  
>>PCB(ポリ塩化ビフェニル)

>>大気汚染  
>>SOx (硫黄酸化物)  
>>NOx (窒素酸化物)

>>ばい煙  
>>生物多様性  
>>社有林

## 1. 環境コミュニケーションの推進

グループ会社での環境活動情報については、本レポートをはじめ、九州電力ホームページにおいても公開しています。

グループ各社においても、各社のホームページで環境活動に関する情報の公開に取り組んでいます(2015年3月末現在 グループ環境経営推進部会参加の53社中、34社で公開)。

WEB 詳細は九州電力ホームページ  
関連・詳細情報 (P2参照) > 九電グループ環境経営



## 2. 地域における環境活動の推進

「九州ふるさとの森づくり」への参加や各社独自の地域清掃活動など、地域における環境活動に積極的に取り組んでいます。

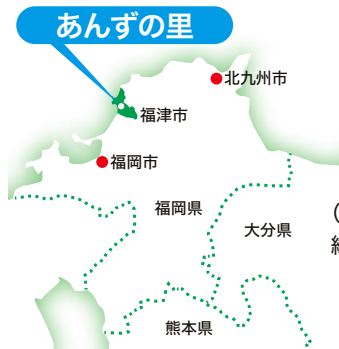
2014年度の「九州ふるさとの森づくり」では、当社社員・家族約650名、グループ会社社員・家族約1,000名を含む約3,600名の皆さまのご協力により、「響灘・鳥がさえずる緑の回廊」(福岡県北九州市)、「古賀市ふるさとの森づくり」(福岡県古賀市)など9か所でボランティアによる育林・植樹活動を実施しました。



「響灘・鳥がさえずる緑の回廊」  
(福岡県北九州市)

### >> 私の環境アクション

## 「あんずの里」で植樹と急速充電器の設置を行いました (株)キューヘン



(株)キューヘン  
総務部 総務グループ

お が た せい ごう  
緒 方 正 剛

私たち(株)キューヘンは、会社創立55周年を迎え、今までお世話になっている地域の皆さまへお礼の意味を込めて、2015年2月に福岡県福津市にある観光名所「あんずの里」で植樹と電気自動車用急速充電器の設置を行いました。

この「あんずの里」は、3月にアンズ約2,500本が咲き誇る花見の名所です。さらに彩りを加えようと、従業員やその家族、OBなど約170人で直売所横にツツジ2,000本とアジサイ250本を植えました。早速、5月にはツツジの花が、6月にはアジサイの花が咲き、来場されるお客さまの目を楽しませてくれました。

直売所の駐車場に設置した電気自動車用急速充電器は、充電時間が約30分と短いため、お客さまがお買物やお食事を楽しんでいただいている間に充電を完了することができます。あんずの里の支配人からは、充電器を利用される方も予想以上に多く、集客効果もあるとのことのお言葉をいただきました。

今後とも、地域における環境活動を通じて、地域の皆さまに信頼され発展し続ける企業を目指します。



植樹活動の様子



電気自動車用急速充電器

## 1. 環境マネジメントシステム(EMS)の自立運用

グループ会社は、構築レベルを6段階に分類した九州電力のグループ会社独自の統一的な基準(「九電グループにおけるEMS構築基準」)に基づき、各社事業特性に応じたEMSを構築し、環境負荷を適切に管理する取組みを推進しています。

### EMS構築状況(2015年3月末現在)

EMS構築レベル		会社数
第6段階	ISO14001 認証取得 (全事業所で認証を取得している会社)	2
第5段階	ISO14001 認証取得 (一部の事業所で認証を取得している会社)	6
第4段階	ISO14001 準拠	7
	エコアクション21(EA21) 認証取得	6
第3段階	ISO 簡易システム	8
第2段階	文書による体制、目標管理、 遵守評価の実施	17

(注)第1段階(環境管理体制の整備、環境方針の策定、環境目標の策定):5社。  
第1段階のEMSを構築中:2社。

## 3. 環境会計

「九電グループにおける環境会計基準」に基づき、各社で算定した環境活動コストを集約しています。

単位:百万円

環境活動の分類	主な活動	2013年度		2014年度		2014年度 環境活動	
		投資	費用	投資	費用	項目	効果
地球環境保全	地球温暖化防止及び オゾン層保護対策等	20.2	1,382.1	44.1	1,585.6	温室効果ガス排出抑制量 <sup>※1</sup>	46.3千トン-CO <sub>2</sub>
地域環境保全	大気汚染・水質汚濁・ 騒音・振動防止対策等	280.9	765.0	25.0	1,109.2	SOx排出低減量 <sup>※2</sup>	10.9千トン
						NOx排出低減量 <sup>※3</sup>	2.9千トン
資源循環	産業廃棄物・ 一般廃棄物の適正 処理等	16.3	1,112.8	45.2	1,523.6	法令、条例に基づき適正に管理	
						産業廃棄物リサイクル量	154.9千トン
						産業廃棄物適正処分量	6.1千トン
						古紙リサイクル量	1.1千トン
グリーン調達	グリーン調達で発生した 差額コスト	—	21.3	—	27.3	一般廃棄物の適正処理	—
環境活動の 管理	環境教育、 EMS運用管理、 環境負荷監視・測定、 構内緑化等	—	148.3	—	291.9	出前講演会	2社 94人参加
						取組事例・事業内容紹介	51社 54人参加
						外部認証取得会社	14社
						EMS第2～第4段階への取組会社 <sup>※4</sup>	32社
						環境関連データベース項目数	857項目
環境関連研究	廃棄物有効利用等	4.0	3.4	—	0.2	九州ふるさとの森づくり育林・植樹活動 <sup>※5</sup>	1,014人参加
社会活動	地域の環境活動支援等	—	75.9	—	85.8	地域清掃活動	29社実施
環境損傷対応	公害健康被害補償制度に よる汚染負荷量賦課金	—	163.1	—	141.2	—	—
合計	—	321.4	3,671.9	114.3	4,764.8	—	—

※1:グループ会社が事業所に設置した太陽光発電設備等の導入実績において、導入しなかった場合をベースラインとして算出。

※2:ばい煙発生施設(ボイラー等)において、脱硫処理や低硫黄燃料の使用を行わなかった場合をベースラインとして算出。

※3:ばい煙発生施設(ボイラー等)において、脱硝処理を行わなかった場合をベースラインとして算出。

※4:エコアクション21認証取得会社を除く。

※5:グループ会社社員及びその家族の参加者数。

用語集をご覧ください

≫環境マネジメント  
システム(EMS)  
≫ISO14001  
≫ISO14001準拠  
≫エコアクション21  
≫ISO簡易システム

≫環境保全協定  
≫環境会計  
≫環境活動コスト  
≫地球温暖化  
≫オゾン層  
≫温室効果ガス

≫大気汚染  
≫水質汚濁  
≫資源循環  
≫グリーン調達  
≫公害健康被害補償制度  
≫汚染負荷量賦課金

≫ばい煙  
≫脱硫処理  
≫低硫黄燃料  
≫脱硝処理  
≫SOx(硫黄酸化物)  
≫NOx(窒素酸化物)



## 4. 環境教育・環境情報共有化

グループ各社の環境講演会などの実施により、グループ会社社員の環境意識高揚を図っています。

また、インターネットを活用した「九電グループ情報ネットワーク」に環境関連法規制等の情報を掲載し、グループ会社の環境情報共有化を図っています。



九電みらいエナジー(株)による事業内容紹介の様子

### 環境教育・環境情報共有化(2014年度)

項目	対象会社	内容	人数
九州電力社員による出前講演会	株キューヘン	環境問題の現状と九州電力グループでの環境経営の取組みについて	40名
	西日本プラント工業株		54名
グループ会社の取組事例・事業内容紹介※	九電みらいエナジー株	九電みらいエナジー株の概要について	54名
	九州高圧コンクリート工業株	2013年度エコアクション21の取組み	

※:2015年3月4日に開催した「グループ環境経営推進部会」の中でご紹介いただきました。

## 社外からの表彰等

### 社外からの表彰等(2014年度)

表彰名	対象	実施団体	
平成26年度エコアクション21 環境活動レポート大賞・九州	九州地方環境事務所長特別賞	九州高圧コンクリート工業株	
	九州環境カウンセラー協会特別賞		九州林産株
			光洋電器工業株
平成26年度エネルギー管理表彰	九州経済産業局長賞 (エネルギー管理優良工場賞)	株電気ビル 小倉支店	(一財)省エネルギーセンター九州支部、九州地方電力利用効率化協議会
かごしま温室効果ガス排出抑制事業者表彰	優秀賞	株電気ビル 鹿児島営業所	鹿児島県
平成26年度九州地方整備局 国土交通行政功労表彰	優良施工業者(業務部門) 「彦山川下境地区河道整備検討業務」	西日本技術開発株	国土交通省九州地方整備局
2014年度九州分析化学奨励賞		九電産業株環境部社員	(公社)日本分析化学会九州支部
北九州市認定産業廃棄物処理業者 認定証		株ジェイ・リライツ	北九州市
DBJ Green Building 認証	国内トップクラスの卓越した「環境・社会への貢献」がなされたビル	株電気ビル 共創館	日本政策投資銀行

用語集をご覧ください

>>環境経営  
>>エコアクション21

>>温室効果ガス  
>>産業廃棄物

